



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月8日

上場会社名 昭和パックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3954 URL http://www.showa-paxxs.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大西 亮
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 飯崎 充 TEL 03-3269-5111
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績 (2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,847	△8.3	837	△19.5	980	△16.8	678	△18.6
2020年3月期第3四半期	16,183	△1.6	1,039	△9.4	1,179	△8.0	834	△7.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,566百万円 (30.9%) 2020年3月期第3四半期 1,197百万円 (159.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	152.83	-
2020年3月期第3四半期	187.85	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	27,865	18,294	63.4	3,982.00
2020年3月期	25,404	16,900	64.1	3,669.20

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 17,680百万円 2020年3月期 16,291百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	19.00	-	19.00	38.00
2021年3月期	-	19.00	-	-	-
2021年3月期 (予想)	-	-	-	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	△4.4	1,120	△17.8	1,270	△15.6	870	△16.0	195.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	4,450,000株	2020年3月期	4,450,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	9,961株	2020年3月期	9,961株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	4,440,039株	2020年3月期3Q	4,440,039株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）の間、2020年入りとともに始まった新型コロナウイルス感染症の流行が世界中に広がり、一時的な沈静化はあったものの収束を見ることはありませんでした。世界各国で都市封鎖や移動制限が繰り返され、我が国も例外ではありませんでした。世界中の経済活動が、4～6月期は大きく落ち込み、7～9月はその反動もあって上向きましたが、その後も感染症流行拡大の波が繰り返されて、いまだ正常化には程遠い状況にあります。

我が国の実質GDP成長率は4～6月期は過去最大のマイナスとなりました。輸出、鉱工業生産、個人消費、全てにわたってマイナスでした。7～9月期は、まず財輸出が復調に転じ、製造業が自動車を中心に幅広い業種で生産を増やし、非製造業も営業再開と人出の回復で増収に転じたため、全産業ベースの企業売上高・経常利益が増収増益となつて、実質GDP成長率は大幅なプラスになりました。10～12月期は、財輸出の増加が継続し、製造業を中心に回復が続きましたが、11月以降感染が再び拡大したため非製造業の回復は緩慢になりました。企業の設備投資は、ソフトウェア投資が下支えをするものの全体では抑制傾向が続きました。

個人消費は4～6月期の落ち込みから、自粛ムードの緩和でプラスに転じはしたものの、すぐに頭打ちとなりました。有効求人倍率の低水準と、月次の現金給与総額の前年同月割れが続くという雇用所得環境の悪化、それに感染の再拡大が消費の重石となっています。かつて国内の消費にも大きく貢献していたインバウンド需要は4月以降ほぼゼロの状態が続きました。

この結果、10～12月期の実質GDP成長率は、プラスではあるものの鈍化することが見込まれ、我が国の経済活動が新型コロナウイルス感染症以前の水準を回復するには、これから長い時間を要することが懸念されます。

当社グループの主要事業は国内生産動向の影響を受けやすい産業用包装資材の製造・販売であり、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、前年同期に対して減収減益となりました。売上高は14,847百万円で前年同期に比して1,335百万円の減収でした。損益は、営業利益837百万円（前年同期比202百万円の減益）、経常利益980百万円（同198百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益678百万円（同155百万円の減益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

○重包装袋

重包装袋部門の主力製品であるクラフト紙袋は、業界全体の当第3四半期連結累計期間出荷数量（ゴミ袋を除く）は、前年同期を6.4%下回りました。微増だったセメント以外の全用途で減少となりました。化学薬品、合成樹脂といった産業用途が大幅に減少、米麦袋は3月に先取りされた関係でもともと少なかった前年同期からさらに微減、製粉、砂糖・甘味、塩、澱粉、飼料など食品用途も軒並み減少しました。重包装袋の原紙価格は、大きな変動はなく弱含みで推移しました。

当社のクラフト紙袋の売上数量は前年同期比△6.8%で、業界と同様に、化学薬品、合成樹脂、米麦、砂糖・甘味、塩などほぼすべての用途で減少しましたが、製粉用途は増加しました。

子会社の九州紙工㈱の売上数量は、九州地区のコメの作況不良と茶葉の需要縮小で米袋・茶袋が減少するなどした結果、全体で前年同期比△4.3%でした。タイ昭和パックス㈱の当第3四半期連結累計期間（1～9月）は、1～6月は顧客の在庫積み増しで出荷量は前年同期比微増でしたが、7～9月期はその反動で出荷が大幅に減少、累計では前年同期比△10.5%となり、やはり新型コロナウイルス感染症流行による需要の縮小を避けられませんでした。ただし、10月以降は顧客の生産の急回復を受けて、タイ昭和パックス㈱の出荷も復調しています。山陰製袋工業㈱の当第3四半期連結累計期間（1～9月）の売上数量は、4月以降顧客の減産が徐々に拡大し、累計では7.9%の減少でした。

当セグメントの第3四半期連結累計期間売上高は9,287百万円で、前年同期に対し9.1%の減収となりました。

○フィルム製品

フィルム製品の業界全体の当第3四半期連結累計期間の出荷量は、前年同期と比べて産業用、農業用ともに減少しました。主原料であるポリエチレン樹脂の価格は、ナフサ価格の変動を受けて一旦値下がりしたあと、反転して値上がり傾向になりました。

当社の売上数量も、産業用、農業用ともに減少し、合計で前年同期比△7.8%でした。産業用で発泡フィルム、農業用でサクランボ用農業フィルムが増加しましたが、ほとんどの品目で減少しました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は2,519百万円で、前年同期に対して8.7%の減収となりました。

○コンテナ

粒状内容物の大型輸送用ワンウェイ・フレコンは、業界の出荷量は、国内生産品と海外生産品の合計で前年同期から増加しました。窯業土木品用途、食品用途は減少しましたが、化学工業品、合成樹脂、飼料用途が増加しました。

当社のワンウェイ・フレコン「エルコン」の売上数量は、4～9月で前年度の失注分を一部取り戻して増加しましたが、10～12月期は減少し、累計では前年同期比6.4%の増加でした。大型ドライコンテナ用インナーバッグ「バルコン」、液体輸送用コンテナライナー「エスタンク」は前年同期から増加、液体輸送用1,000ℓポリエチレンバック「エスキューブ」は減少しました。

当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は1,448百万円で、前年同期に対して5.0%の減収でした。

○不動産賃貸

賃貸契約内容に変動はありません。当セグメントの当第3四半期連結累計期間売上高は前年同期から横ばいの193百万円でした。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当社グループの当第3四半期連結会計期間末総資産は27,865百万円で、前連結会計年度末に比べて2,461百万円増加しました。主な増加要因は現金及び預金831百万円、商品及び製品142百万円、有形固定資産329百万円および投資有価証券1,604百万円です。主な減少要因は受取手形及び売掛金436百万円です。

(負債)

負債合計は9,571百万円で、前連結会計年度末に比べて1,067百万円増加しました。主な増加要因は支払手形及び買掛金334百万円、電子記録債務324百万円、繰延税金負債492百万円およびその他の流動負債361百万円です。主な減少要因は短期借入金104百万円、未払法人税等115百万円および賞与引当金159百万円です。

(純資産)

純資産合計は18,294百万円で、前連結会計年度末に比べて1,393百万円増加しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益678百万円、剰余金の配当支払168百万円による利益剰余金の増加509百万円およびその他有価証券評価差額金の増加1,102百万円等によります。主な減少要因は為替換算調整勘定233百万円です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同期から大きな減収減益になりました。1～3月期の我が国GDPは、2021年に入って新型コロナウイルス感染症流行の第三派が広がったため、再びマイナス成長に陥ることを危惧する見方も出てきています。当社グループの損益も大きく変動するリスクがありますが、当連結会計年度(2020年4月1日～2021年3月31日)通期の業績見通しについては、2020年10月23日の修正発表を変更せず、連結売上高20,500百万円、連結経常利益1,270百万円、親会社株主に帰属する当期純利益870百万円を見込みます。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,235,723	8,067,714
受取手形及び売掛金	6,003,999	5,567,873
電子記録債権	522,708	529,236
商品及び製品	1,202,291	1,344,668
仕掛品	105,752	127,559
原材料及び貯蔵品	989,542	1,013,799
その他	288,298	214,057
貸倒引当金	△10,467	△8,974
流動資産合計	16,337,848	16,855,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,916,769	7,987,578
減価償却累計額	△5,926,809	△5,974,084
建物及び構築物（純額）	1,989,959	2,013,494
機械装置及び運搬具	10,103,907	9,735,793
減価償却累計額	△8,973,663	△8,737,444
機械装置及び運搬具（純額）	1,130,243	998,349
土地	891,929	877,322
建設仮勘定	193,078	656,706
その他	871,002	870,342
減価償却累計額	△776,770	△787,439
その他（純額）	94,232	82,902
有形固定資産合計	4,299,443	4,628,775
無形固定資産		
ソフトウェア	26,530	41,141
無形固定資産合計	26,530	41,141
投資その他の資産		
投資有価証券	4,181,323	5,785,899
退職給付に係る資産	422,976	429,685
繰延税金資産	53,698	55,164
その他	93,886	77,914
貸倒引当金	△11,434	△9,110
投資その他の資産合計	4,740,450	6,339,553
固定資産合計	9,066,424	11,009,470
資産合計	25,404,272	27,865,405

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,190,792	3,525,301
電子記録債務	1,223,755	1,548,684
短期借入金	1,092,000	988,000
未払法人税等	224,485	109,096
賞与引当金	384,641	224,896
役員賞与引当金	19,720	14,880
設備関係支払手形	19,245	12,190
営業外電子記録債務	150,689	98,277
その他	661,623	1,023,364
流動負債合計	6,966,952	7,544,690
固定負債		
長期借入金	88,000	88,000
繰延税金負債	667,265	1,159,964
役員退職慰労引当金	124,410	127,064
退職給付に係る負債	473,166	472,118
資産除去債務	4,467	4,467
長期預り保証金	169,727	167,225
その他	9,630	7,665
固定負債合計	1,536,668	2,026,505
負債合計	8,503,620	9,571,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	640,500	640,500
資本剰余金	289,846	289,846
利益剰余金	13,620,779	14,130,636
自己株式	△9,441	△9,441
株主資本合計	14,541,684	15,051,541
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,521,654	2,624,259
為替換算調整勘定	325,384	92,145
退職給付に係る調整累計額	△97,322	△87,695
その他の包括利益累計額合計	1,749,716	2,628,710
非支配株主持分	609,252	613,956
純資産合計	16,900,652	18,294,208
負債純資産合計	25,404,272	27,865,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	16,183,399	14,847,686
売上原価	13,170,161	12,159,396
売上総利益	3,013,238	2,688,290
販売費及び一般管理費	1,973,873	1,851,134
営業利益	1,039,364	837,155
営業外収益		
受取利息	3,294	3,857
受取配当金	128,274	130,128
為替差益	4,314	7,305
その他	12,266	12,455
営業外収益合計	148,150	153,747
営業外費用		
支払利息	7,519	6,950
その他	723	3,218
営業外費用合計	8,242	10,168
経常利益	1,179,272	980,734
特別利益		
固定資産売却益	199	-
特別利益合計	199	-
特別損失		
固定資産除却損	4,540	9,882
投資有価証券評価損	11,133	-
特別損失合計	15,673	9,882
税金等調整前四半期純利益	1,163,799	970,852
法人税、住民税及び事業税	287,759	259,036
法人税等調整額	1,856	△1,599
法人税等合計	289,616	257,436
四半期純利益	874,182	713,415
非支配株主に帰属する四半期純利益	40,140	34,836
親会社株主に帰属する四半期純利益	834,041	678,579

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	874,182	713,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	235,180	1,102,759
為替換算調整勘定	93,409	△259,153
退職給付に係る調整額	△5,542	9,626
その他の包括利益合計	323,047	853,232
四半期包括利益	1,197,230	1,566,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,147,545	1,557,573
非支配株主に係る四半期包括利益	49,684	9,074

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,217,548	2,760,683	1,524,725	193,652	14,696,609	1,486,789	16,183,399
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	10,217,548	2,760,683	1,524,725	193,652	14,696,609	1,486,789	16,183,399
セグメント利益	969,615	139,133	5,666	106,231	1,220,646	96,102	1,316,749

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,220,646
「その他」の区分の利益	96,102
全社費用 (注)	△277,384
四半期連結損益計算書の営業利益	1,039,364

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	重包装袋	フィルム 製品	コンテナ	不動産賃貸	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,287,966	2,519,380	1,448,931	193,737	13,450,015	1,397,671	14,847,686
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	9,287,966	2,519,380	1,448,931	193,737	13,450,015	1,397,671	14,847,686
セグメント利益又は損失(△)	756,170	160,333	△7,937	117,760	1,026,327	84,012	1,110,339

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、包装用原材料、包装用機械、その他関連製品等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,026,327
「その他」の区分の利益	84,012
全社費用(注)	△273,183
四半期連結損益計算書の営業利益	837,155

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。